

令和5年 第1回北海道議会定例会 予算特別委員会〔総務部所管〕 開催状況

開催年月日 令和5年3月3日（金）

質問者 民主・道民連合 広田 まゆみ 委員

答弁者 総務部教育・法人局総合教育推進課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>二 民間幼稚園などにおける森や自然を活用した子育て支援の検討状況について</b></p> <p>こども基本法の制定を機に、北海道らしいこども政策の柱として、こどもの外遊び体験を保障する自然保育などの制度や、支援制度の検討を加速すべきと考えますが、総合教育会議等における検討状況をうかがいます。</p> <p><b>【指摘】</b></p> <p>最後に指摘ですけれども、「豊かな自然を活かした学びの充実に努める」ということですが、これ、「遊び」もすごく重要なんですね。</p> <p>ぜひ、幼児教育推進センターなどでいろいろ知見も集まってきていると思いますので、北海道の未来の人材育成のために、総合教育会議の方でも、さらに検討を加速していただくよう指摘を申し上げまして、質問を終わります。</p>	<p><b>（総合教育推進課長）</b></p> <p>取組の検討状況についてでございますが、子どもたちが、自然と触れあう中で、多くの人と関わりながら様々な体験を積み重ねることは、社会を生き抜く力として必要となる基礎的な能力を養うことができる重要な活動の一つであると認識しております。</p> <p>また、道では、自然体験活動をはじめ、幼児教育に関連する取組状況や課題などについて、関係部局で情報共有を図るとともに、自然保育に関わる有識者が講演するセミナーや保育者が現場の実践事例を紹介するフォーラムに参加するなど、情報収集にも努めてきたところであります。</p> <p>こうした中、こども政策を推進する「こども家庭庁」が本年4月に創設されることなどを踏まえ、今年度の総合教育会議の開催に当たっては、こども政策も含め会議で議論することを検討しましたが、昨今の教育を取り巻く状況などを勘案し、他の事項を取り上げて議論することとしたところでございます。</p> <p>道といたしましては、就学前の育ちの保障を含めた、こども政策の推進につきましては、国の動向を注視しつつ、引き続き、関係部局が連携し、総合教育会議等の場を活用するなどして、豊かな自然を活かした学びの充実に努めてまいります。</p>